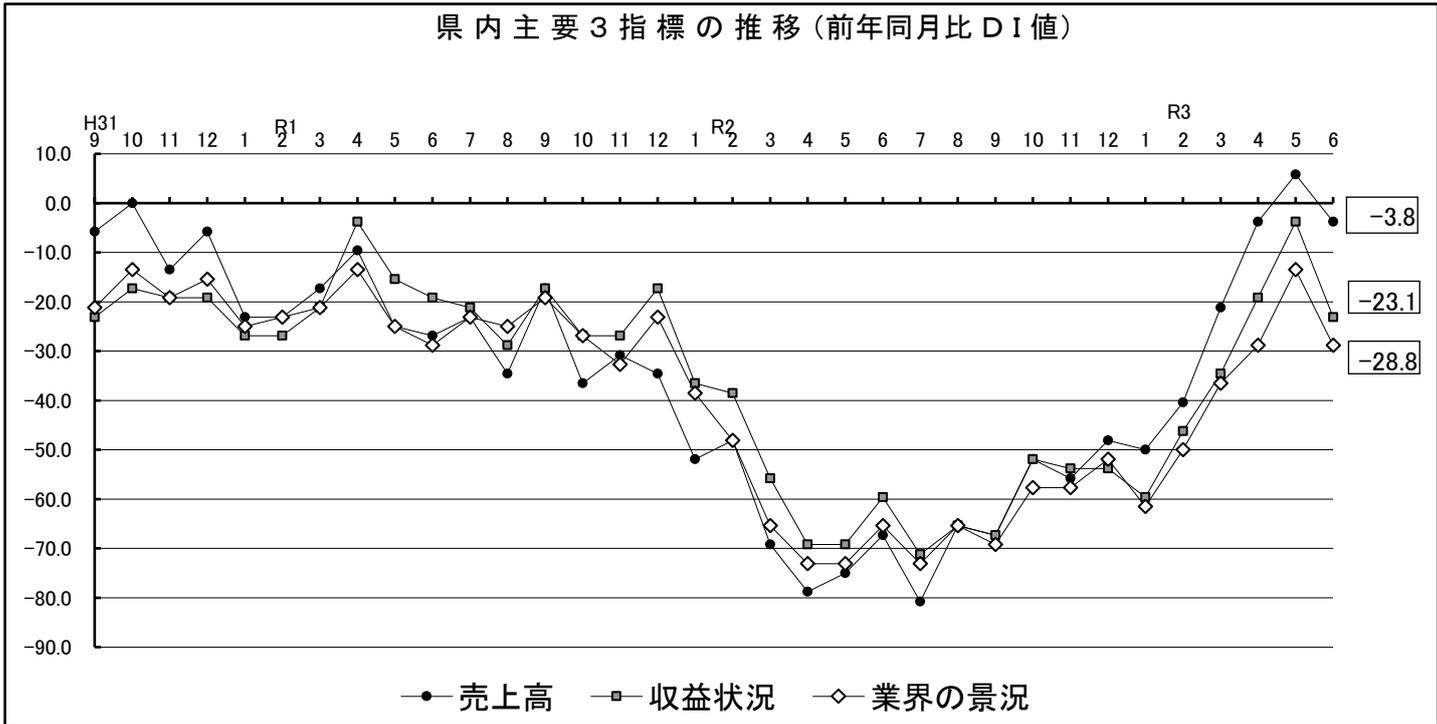


中小企業団体情報連絡員報告結果(令和3年6月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員（中小企業組合（協同組合、商工組合等）の役職員52名に委嘱）による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

- 主要3指標が低下。変異株の流行やワクチン接種時期が不透明など、先行きの見通しは依然として厳しい。
- 製造業で「印刷」「木材・木製品」、非製造業で「小売業(飲食業)」「サービス業」で特に厳しい状況。
- 一部に前向きな報告も増えつつあるが、引き続き予断を許さない状況に変わりはない。



主要3項目	県内		全国	
	DI値	前月比	DI値	前月比
売上高	-3.8	-9.6	-12.6	+1.5
収益状況	-23.1	-19.3	-28.0	+0.8
業界の景況	-28.8	-15.3	-31.4	+0.3

売上高

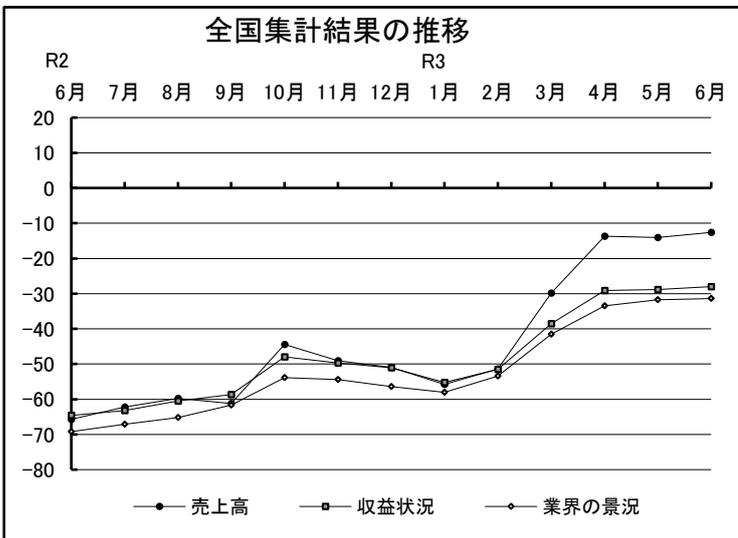
当月の県内売上高DI値は、前月より9.6ポイント低下し、-3.8ポイントとなった。全国においては、前月より1.5ポイント上昇し、-12.6ポイントとなった。

収益状況

当月の県内収益状況DI値は、前月より19.3ポイント低下し、-23.1ポイントとなった。全国においては、前月より0.8ポイント上昇し、-28.0ポイントとなった。

業界の景況

当月の県内業界の景況DI値は、前月より15.3ポイント低下し、-28.8ポイントとなった。全国においては、前月より0.3ポイント上昇し、-31.4ポイントとなった。



-概況-

6月の前年同月比DI値は、前月と比べ9指標中7指標が低下。主要3指標は「売上高」が9.6ポイント低下、「収益状況」が19.3ポイント低下、「業界の景況」が15.3ポイント低下となった。原材料の高騰・部品の調達不安等の声（特に木材・木製品業）が引き続き寄せられている。また、コロナ第5波や新たな変異株の流行、ワクチン接種完了時期が不透明などの不安要素が多く、先行きの見通しは依然として厳しい。

業種別・指標別にみると、製造業・非製造業共に、主要3指標全ての低下が見られた。「木材・木製品」は「在庫状況」が-75ポイント、「印刷」は主要3指標がすべて-100ポイントと特に厳しい数値を示している。非製造業全体では、主要3指標が低下したが、特に「小売業（飲食業）」や「サービス業」等では依然としてマイナス状態が続いている。

当月は、前月よりも収益状況と業界の景況が大きく低下した。各業界からは、新型コロナウイルスに加え気温の影響や、イベント中止などに伴う受注数大幅減、原材料の仕入れが困難などの報告が散見されている。しかし、一部では、コロナ禍を契機に新規事業で売上増加を図る取組みも見られ、収益悪化を最小限にとどめようとする姿勢が感じ取れるが、引き続き予断を許さない状況には変わりはない。

図表1 【業種別・指標別DI値一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	0.0	75.0	25.0	-25.0	-50.0	-50.0	-50.0	0.0	-50.0
繊維・同製品	-25.0	-25.0	-50.0	-50.0	-50.0	-50.0	0.0	-25.0	-25.0
木材・木製品	50.0	-75.0	25.0	0.0	-25.0	0.0	50.0	-25.0	-75.0
印刷	-100.0	0.0	-100.0	0.0	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0
窯業・土石	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	-25.0	0.0	-25.0	0.0
鉄鋼・金属	25.0	-25.0	0.0	0.0	-25.0	-25.0	-25.0	-25.0	-25.0
一般機器	75.0	25.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0
製造業	20.0	-12.0	-4.0	-12.0	-16.0	-20.0	0.0	-20.0	-24.0
卸売業	100.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0		0.0	33.3
小売業	-71.4	-28.6	0.0	-14.3	-57.1	-14.3		0.0	-42.9
サービス業	-66.7		-33.3	-50.0	-83.3	-66.7		0.0	-50.0
建設業	0.0		0.0	-20.0	0.0	0.0		-25.0	-20.0
運輸業	-25.0		0.0	0.0	0.0	-25.0		0.0	-75.0
その他	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	-25.9	-20.0	-7.4	-18.5	-29.6	-22.2	-3.7	-33.3	
全体	-3.8	-14.3	-5.8	-15.4	-23.1	-21.2	0.0	-11.5	-28.8

図表2 【指標別DI値の推移】

	2年							3年						前月比
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
売上高	-67.3	-80.8	-65.4	-67.3	-51.9	-55.8	-48.1	-50.0	-40.4	-21.2	-3.8	5.8	-3.8	-9.6
在庫数量	-22.9	-17.1	-17.1	-20.0	-22.9	-22.9	-25.7	-14.3	-8.6	-11.4	-20.0	-17.1	-14.3	2.8
販売価格	-13.5	-7.7	-7.7	-5.8	-7.7	-11.5	-7.7	-13.5	-9.6	-3.8	-3.8	3.8	-5.8	-9.6
取引条件	-19.2	-15.4	-21.2	-23.1	-21.2	-19.2	-19.2	-15.4	-17.3	-11.5	-9.6	-9.6	-15.4	-5.8
収益状況	-59.6	-71.2	-65.4	-67.3	-51.9	-53.8	-53.8	-59.6	-46.2	-34.6	-19.2	-3.8	-23.1	-19.3
資金繰り	-51.9	-51.9	-48.1	-42.3	-28.8	-26.9	-26.9	-26.9	-26.9	-19.2	-9.6	-13.5	-21.2	-7.7
設備操業度	-56.0	-68.0	-56.0	-52.0	-40.0	-48.0	-32.0	-36.0	-24.0	-20.0	-12.0	12.0	0	-12.0
雇用人員	-19.2	-15.4	-9.6	-15.4	-9.6	-11.5	-11.5	-13.5	-11.5	-9.6	-11.5	-11.5	-11.5	0.0
業界の景況	-65.4	-73.1	-65.4	-69.2	-57.7	-57.7	-51.9	-61.5	-50.0	-36.5	-28.8	-13.5	-28.8	-15.3

特記事項

情報連絡員報告（令和3年6月分）

具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
和洋菓子製造業	昨年から見ると売上等は増加しているがまだまだ厳しい。同一労働同一賃金など、社会情勢への対応に苦慮している。
あん類製造業	コロナに加え、気温の影響も出始めてきたので業界全体が下向き。中国小豆も高値を記録しているので原料の仕入れも厳しくなっている。
縫製業	受注数は、去年より大幅に減少しているが、従業員の半数近くは雇用調整助成金等を活用して維持している。この先は、秋物商品の受注が出始めているので去年よりは期待している。
網・レース・繊維粗製品製造業	昨年同時期に比べると受注状況は改善しているが、仕入れ先や加工業者との取引条件は徐々に悪化傾向にあり、悩ましい。コロナ禍前の状況に少しずつ戻ってきているように感じるが、周囲の状況には依然として厳しさを痛感している。
家具・建具製造業	ウッドショックにより木材全般が品薄となっており、価格が高騰している。現段階では収集に見通しがつかず、長期化した場合が採算・収益に深刻な影響を及ぼす懸念がある。
建具製造業	コロナ禍による経済の不順から発生したウッドショックにより、資材の入手難と高騰が続いており、先が見通せない。
印刷業	イベント等の中止で広告印刷需要が激減、その他事務用印刷物もペーパーレス化で減少している。同業者間の競争とネット印刷の影響で価格破壊状態。コロナで落ち込んでいた前年同月より悪化している。
石灰製造業	鉄鋼関係は、順調に出荷している。昨年と比べると増加傾向となっている。肥料関係は、昨年同様の出荷となった。建材関係は、砕石、土質共に減少傾向。全体では、前年並みとなった。
陶磁器・同関連製品製造業	新型コロナウイルスの影響で陶器市も中止になり、2年とも中止になったのは大きい。しかし、ワクチン接種で陶芸教室も再開し少しずつ人がうごきはじめ、売上も伸びてくると思う。
金属製品製造業	家電（給湯器）にも若干、半導体不足が影響しつつある。
金属製品製造業	自動車部品、機械設備、プレス設備関連ともに低下（主にコロナ禍による売上低下、人件費増加、人手不足）
一般機械器具製造業	令和3年6月の報告は前年同月と比較し、売上高等はほぼ同等の水準となっており、収益悪化懸念はあるものの、企業努力によりこれ以上の悪化は回避出来ている。操業度についても前年同期の水準であるが、仕入れ資材の高騰もあり、今後の同行に注視している。前月同様、回復傾向の企業と悪化懸念の企業とがほぼ同数。
一般機械器具製造業	自動車・建機関係は、上昇傾向になって来ましたが、半導体不足の影響が出てきてかなりの冷え込みが見られる。建設関係も著しい動きはない。介護関係は、相変わらずの人手不足状態。但し、留学生などが特定技能申請をして就労する傾向がある。
各種商品卸売業	当団地組合では、引き続き新型コロナウイルスの影響を受けているが、全体として売上高、収益状況、業況等は前年同期に比べ改善の傾向にある。

各種商品小売業	6月期も大変厳しい月であった。物販店等に前年同月に比べ20%のダウン。飲食店においても30%~40%のダウンと聞いている。
花・植木小売業	花の生産地から高冷地へと切り替わりの時期を迎え、入荷は昨年比で90~95%減、単価は110%~120%高で推移した。小売りの状況はスーパーなどのカジュアルフラワーは良かったが、路面店での動きは鈍い。また、父の日はネット販売が好調だったとの声が多く聞かれた。大幅に減った結婚式は、密を避けるプランニングにより徐々に戻りつつある。
旅館・ホテル	(宿泊) 市内全域のホテルの稼働率は平均50%にも届かない状況。東京オリンピックを前に感染拡大リバウンドも現実味を帯びており、先行きが不透明なまま。(宴会) 新型コロナウイルス感染拡大により100%ダウン。(飲食店) 飲食店利用はまだまだ非常に厳しい状況。第5波と変異株も懸念されており先行きが全く見通せない。
給食センター	売上高は、新型コロナウイルスの影響もあり、既存の売上高は前年同月より少し減少しているが、新規事業である惣菜の製造販売により、増加傾向にある。しかし、このまま新型コロナウイルスが終息しない場合は、収益・資金とも悪化していくと思われる。
建設業	日光管内では手持ち工事のない業者があり、早期の発注を望むところである。
貨物軽自動車運送業	本当に僅かではあるが県内全域的に物流が動き出しているように感じる。ハウスメーカーからの資材・部材の配送、冷蔵・冷蔵車を希望される食品メーカーや、研究施設からなどの新規のお客様や数年ぶりに利用していただける方まで、問い合わせも少しずつ戻ってきている。県内大手自動車メーカーの数年後の工場閉鎖に伴うイメージを考えながら新しい一手を模索している。
一般乗用旅客自動車運送業	高齢者の1、2回目、コロナワクチン接種が進み、現在65歳以上の方々の接種にまで及び人々の気持ちの上での安心感が出てきているのか、少しずつだが日中の人流は増えてきている。しかし夜間はまだまだ大変な状況が続いている現状である。
大谷石採石業	やや好転・増加傾向にある。ただし、一昨年の同月比ではまだまだの状況である。